

回観

地域広報紙
第207号
令和6年1月25日

かげはし

発行
スポーツクラブ21段上
責任者 藤井 正利



恒例の甲山ハイキング実施 風が冷たい中歩け歩け！

1月7日（日）、風は冷たいけれど好天に恵まれて恒例の新春甲山ハイキングが行われました。年初から石川県能登半島で大地震が発生して甚大な被害をもたらせました。阪神間でも震度4の揺れを感じました。多くの被災された皆さんに心よりお見舞い申し上げるとともに、地震により亡くなられた皆さんのご冥福をお祈り申し上げます。改めて29年前の阪神淡路大震災を思い出し、地震の恐ろしさと日頃からの備えの大切さを痛感させられました。私たちは令和6年の新年にあたり防災の重要さを再確認して、この1年がこの先平穏であることを願いたいと思います。

さて、こうした中で実施された新春甲山ハイキングですが、総勢17名が参加して少し風が冷たかったですが元気に甲山の山頂を目指して歩きました。今年は報徳学園ラグビー部の21名が参加していただき、子どもたちも大喜びでした。いつもよりやや早いペースで森林公園から神呪寺を経て甲山山頂に到着しました。しばしの休憩後全員で集合写真を撮ったのち帰路につきました。帰りは行きと異なり下りとなるので自然とスピードアップして、全員が無事に段上小学校に帰着しました。参加されたみなさんお疲れさまでした。お手伝いいただいた指導員、役員や報徳学園ラグビー部のみなさんありがとうございました。

次回はお昼の豚汁が復活するように心から願っています。本年も「スポーツクラブ21段上」に変わらぬご支援ご協力を宜しくお願ひいたします。



開会式



小学校を出発



サッカーチーム5年生

西宮地区予選準優勝、県大会へ初出場決定！

段上サッカーチーム5年生は、昨年12月に行われた第30回関西小学生サッカー大会・西宮地区予選（32チーム参加）で準優勝を果たし、今年2月に開催される兵庫県大会に西宮代表として初出場が決まりました。

この大会に入るまで、相手ゴール前までボールを持ち込むもシュートが打てないことが課題でした。この課題を克服するために練習を重ねて、選手全員の意識を変えることに努めました。その結果、地区予選では1回戦、2回戦と前半に得点することができました。しかし、県大会出場がかかった準々決勝ではなかなか得点できず経過しましたが、残り5分の場面で相手キックボールをカットしみごと得点につなげました。試合終了のホイッスルで県大会初出場を決めました。心を打たれた場面は勝ったことだけではなく試合終了の挨拶後に、悔しい思いをしている相手選手に声をかけて寄り添い互いに健闘を讃えあう姿が見られたことでした。選手が感謝の気持ちを持ってたのも、日頃から声をかけてくれるみなさんや、応援してくれる仲間や友だち、保護者のみなさんのおかげです。

準決勝では市内リーグで上位のチームに全員が出場して1：0で競り勝ちましたが、優勝には届きませんでした。まだまだ課題の多いチームではありますが「感謝」の気持ちをもって、県大会に挑戦させていただきます。これからも応援よろしくお願ひいたします。（文：津田）

